

# 子供企画型 レポート

テーマ

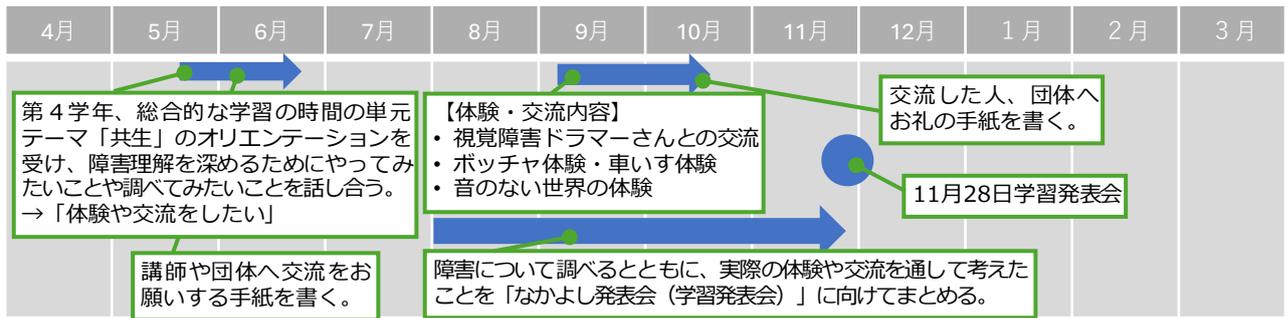
## 「育てよう！東田プライド」プロジェクト 障害ってなんだろう

杉並区立東田小学校

教育計画上の  
のねらい

- 1 東田小での体験的な教育活動が、学年を超えて児童共通の思い出となり、卒業後も同じ話題を共有できるようにすることで、愛校心を育てる。
- 2 地域と連携・協働した活動を通して、地域のよさや地域に愛され大切にされていることを実感させることで、地域への愛着心を育てる。
- 3 愛校心や地域への愛着を基盤として、地域社会に貢献しようとする心情を育てる。

児童・生徒の企画内容  
年間スケジュール



### 児童・生徒の声



企画に関わった  
児童・生徒

「障害のある人に直接インタビューがしたかったので、交流を計画してよかった。」・「計画したときはどれくらいの人と会えるかわからなかったけれど、思ったよりたくさんの方がきてくれたし、いろいろな体験ができたからよかった。」

参加した  
児童・生徒

「音のない世界を体験してみて、言葉や音がなくても考えや気持ちが伝わるんだなと思った。」・「ドラマーさんは、目が見えないのに、『ふだんの生活でこままっていることはない』と言ってびっくりした。」・「体験したことを家族にも伝えたいと思った。」

### 取組・実践



視覚障害のあるドラマーさんとの交流

#### 障害ってなんだろう

「みんなのしあわせ」のために、わたしたちができることを考えるー第4学年の総合的な学習の時間のテーマは「共生」です。

まずは「障害のある方と交流して直接話を聞いてみたい」と、近隣地域にお住まいの視覚障害をもったドラマーさんをお招きしました。ドラムの演奏もすてきだったし、給食も不自由なく召し上がっていて、「ふだんの生活で困ることはない」というお話しに、障害へのイメージが変わりました。



耳をふさいで音のない世界を体験

#### 音のない世界で伝えよう

音のない世界で考えや気持ちを伝えるって難しそう…ヘッドフォンで聴覚をふさいだ瞬間の児童は不安でいっぱいそうな表情でしたが、活動が進むにつれて、身振り手振り、表情、文字、絵そして手話など、対話の方法は思っていたよりずっとたくさんあることに気付きました。

相手に伝えよう、相手を知ろうという気持ちがあれば、豊かな心の交流ができる。障害は障害でなくなる。そんな実感をもった体験でした。



学習発表会に向け、知恵を出し合っ

#### 障害は社会がつくり出すもの

さまざまな障害について学んでいく中で、「視力の悪い人もメガネがあればよく見える」ように、「車いすの人も段差のない道なら移動に問題ない」「聴覚に障害があっても他の手段を工夫すれば通じ合える」ことが分かりました。

学習発表会で「障害は社会がつくり出し、社会の方にある」ことを、全学年に分かりやすく伝えるために、友達同士で何度も発表を聞き合いながら、資料の内容や構成を工夫しました。

成果

- 障害のある方々と直接交流し様々な体験をすることによって、障害は社会がつくり出していることに気付くとともに、共生社会について深く考えることができた。
- 本プロジェクトでの交流や体験活動が、学年児童共通の思い出となり、愛校心が高まった。
- 学習発表会では、他学年児童や保護者・地域に向け、交流や体験を通して学習したことを工夫して分かりやすく伝えることができ、共に地域の共生社会を担う自覚と誇りが育まれた。